

2013年7月12日

各 位

JXホールディングス株式会社

第44回JX-ENEOS童話賞の作品募集結果について

当社(東京都千代田区大手町二丁目、社長:松下功夫)は、昨年に引き続き「第44回JX-ENEOS童話賞」の作品を募集した結果、8,870編のご応募をいただきましたので、お知らせいたします。

一般の部	7,568編
中学生の部	470編
小学生以下の部	832編
計	8,870編

「JX-ENEOS童話賞」は、毎年「心のふれあい」をテーマとしたオリジナル童話作品を広く一般の方々から募集し、優秀作品を選出しているものです。

今回いただいたご応募の内訳は、年齢では3歳から98歳と幅広く、地域も47全都道府県すべてからご応募いただいただけでなく、カナダ、中国(香港含む)、デンマーク、フランス、マレーシア、ポーランド、韓国、シンガポール、イギリス、アメリカの海外在留邦人の方からも作品が寄せられました。

選考にあたっては、西本鶏介先生(児童文学者)、立原えりか先生(童話作家)、角野栄子先生(童話作家)、中井貴恵先生(女優・エッセイスト)等によって構成されるJX-ENEOS童話賞選考委員会により、厳正かつ慎重な審査が行われます。

選考結果の発表は10月中旬を予定しています。また、各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作に入選された作品については、11月下旬に一冊の童話集「童話の花束(その44)」にまとめて発行する予定です。

以上

添付資料：①JX-ENEOS童話賞 募集要項概要

②JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENOES童話基金について

(ご参考)

前 回(第43回JX童話賞)の応募総数:13,213編

前々回(第42回JX童話賞)の応募総数:7,242編

JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENEOS童話基金について

1. JXグループは、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、その中から優秀作品を選出のうえ、一冊の童話集「童話の花束」として発行しています。
2. JXグループは、この「童話の花束」を東京善意銀行やその他の福祉団体を通じて、全国の福祉施設、母子家庭および里親家庭に寄贈しています。さらに、心のケアに役立てていただくため、東日本大震災の被災地の子どもたちや高齢者の皆さまにもお届けしています。
3. また、JXグループ各社をはじめ、ENEOSのサービスステーションを運営しているJX日鉱日石エネルギーの特約店や、LPガスの特約店にも「童話の花束」をお買い上げいただき、その売上金のすべてを「JX-ENEOS童話基金」に組み入れるとともに、同基金から、毎年、児童福祉の一助として、社会福祉法人全国社会福祉協議会(全社協)に寄付を行っています。
4. この寄付金は、全社協が設立した「JX-ENEOS奨学助成制度」により、児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として活用されています。昨年度(2012年度)は、368名の子どもたちが受給しました。
5. 「JX-ENEOS童話基金」は、全国の児童養護施設などで暮らす子どもたちの就学支援に加え、2011年度から3年程度をめぐりに東日本大震災の被災地の子どもたちの支援を行っていく予定です。
6. なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、JX日鉱日石エネルギーが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用され、国内の森林による二酸化酸素吸収量の拡大に貢献しています。JXグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。